

とおかまち



でたー！縄文土器！

8月27日(土)、市民を対象とした笹山遺跡の発掘体験が初めて行われました。発掘体験では縄文土器が次々と出土し、参加者たちは興奮の歓声をあげていました。(関連記事26ページ)

主な内容

- 豪雨災害ボランティア活動 2-3
- 豪雨被災者への支援制度(追加分) ほか 4-5
- 十日町市民の憲法をつくろう 6-9
- 越後妻有大地の祭り2011夏 閉幕 10-11
- 十日町圏域の救急医療 12-13
- 命を守ろう/川ごったく ほか 14-17
- 公開講座/まちづくりアンケート結果 ほか 18-21
- 地域の風~支所からのたより~ ほか 22-25
- まちの話題TOPICS/お知らせ・ガイド 26-31
- ジュニア芸術祭 —上野小学校— 32

絆 きずな 縁 きずな

つながりが生んだボランティア活動

平成23年7月新潟・福島豪雨災害特集



平成23年7月新潟・福島豪雨災害では、全壊9件・半壊36件・一部損壊238件（8月31日現在）と、大きな被害を受けました。被害を受けた住家では、土砂の搬出やがれき撤去など、復旧に多くの労力が必要でした。そこで「十日町市7・28豪雨災害ボランティアセンター」が立ち上がり、多くの人が復旧作業を支援しました。今回は、復旧の力となったボランティア活動をレポートします。

ボランティアセンター 立ち上げから収束まで

災害直後の甚大な被害の状況から、7月31日に、市の災害対策本部と社会福祉協議会が協議し、ボランティアセンターの立ち上げを決定。8月1日から準備を始めるとともに、支援を必要とする人の情報の収集とボランティアの募集受付を開始しました。2日には準備と平行して、支援活動を開始し、3日から本格的に稼働しました。

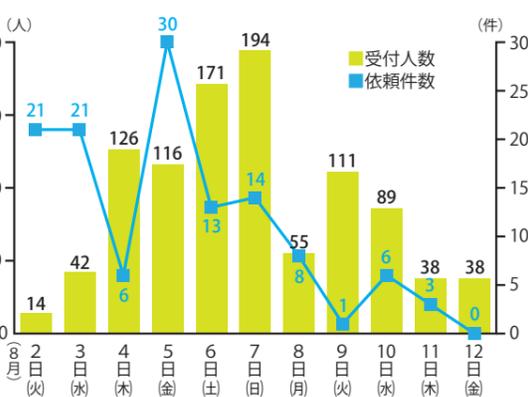
準備や運営には十日町市社会福祉協議会だけでなく、十日町青年会議所やNPOセーフティネットぼうさいも大きな力となりました。立ち上げ当初から携わった十日町青年会議所の小山大志さんは、「震災の経験もあり、必要な用品の手配からボランティアのグループ分けなど日々変化するニーズなどに臨機応変に対応できました」と話します。

立ち上げに尽力した十日町市社会福祉協議会の長野和明さんは、「始めてから2日間はボランティアの人数も少なかったのですが、3日目からは100人を超えるボランティアが参加しました。中里地域の雪原カーニバルに地域づくり活動支援として毎年参加しているNPO国際ボランティア学生協会（IVUSA）の皆さんも40人以上の隊を組んで協力してくれました」と活動を振り返ります。11日間の活動に県内外から延べ

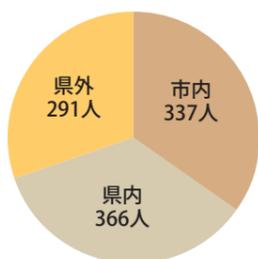


994人の協力で、100か所以上の被災家屋などの復旧支援に取り組みました。そして復旧が進捗し、依頼件数も減少したことから12日をもってボランティアセンターは終了しました。

ボランティア人数と依頼件数



ボランティアの参加地域別内訳



ボランティアに携わった人

多くの人から知ってもらったことが早い復旧につながる

森 智洋さん（横浜市）

テレビで、川の氾濫や橋が流れた映像は見ましたが、街中の被害は映し出されていなかったため、現場で初めて目の当たりにしたときはとても驚きました。被害が一部の地域に限られているので、市内でも知らない人がいるのと、とても多い、ボランティアに参加してもらったことが、早い復旧・復興につながると思います。



森 智洋さん（横浜市）

地域の温かさを感じた

齋藤友紀子さん（所沢市）

先日お手伝いした麻畑では、土砂が流入し住めない状態の家が多くありました。お年寄りだけの世帯も多く、疲労困ぱいでこれからの作業が大変だと感じました。作業をしていて地域の温かさを強く感じます。「ありがとう」という

地域によって

さまざまなきずながある

NPO国際ボランティア学生協会 十日町市豪雨災害支援隊長 上田康雅さん（八王子市）

当初は、東日本での活動を予定していましたが、災害発生後にボラセンが立ち上がり、縁のある中里地域の関係者から要請をもらって、お手伝いすることを決めました。ボランティアをしていて感じたことは、街中は隣同士や近所で助け合い、少し離れた集落は代表者がリーダーを集めるなどして統率をとっているなど、地域によって



上田康雅さん（八王子市）



言葉をかけてられると胸がいっぱいになります。被災されている皆さんから逆に元気をもらっています。

ボランティアセンターを支えた人

自分たちのまちを守りたいと思う有志が集まり、組織することが理想

十日町青年会議所 副理事長 小山大志さん

現場の動かし方が分かるメンバーが多かったことから、運営に携わり、現場のコーディネートを担当



小山大志さん

当し、その中で多くのことに気付きました。例えば、地域によってボランティアを受け入れる前の準備や被害の把握状況に違いがあり、それをつかんでの対応をする必要がありました。課題も多くあったので、関係者で振り返り、今後につなげたいですね。自分の地域は自分で守るという自助の気持ちが大切です。奇しくも災害が続きましたが、ボランティア活動を通じて志のある若者が集まり、有事の対応を受けようとする組織ができることが理想です。



早いボラセンの立ち上げと、地域コミュニティが大事

十日町市社会福祉協議会 庶務係長 長野和明さん

今までの災害の経験があり、団体同士の連携はスムーズにいきました。つながりや縁があったおかげです。今回は経験したことがない水害でしたが、今後、どこで何があってもおかしくないと感じました。どのような災害であっても早い決断・対応が大事ですし、つながりがあるだけでなく事前に役割を明確にすることが必要です。とはいえ、災害発生後からボランティアセンターが立ち上がるまでの間は、やはり地域コミュニティのつながりが何よりも大事です。



長野和明さん

消防だより「火の用心」9月10日号にも豪雨に関する情報が掲載されていますのでご覧ください。



気軽に利用して
ください

乗合バス（予約方式）を 9月15日(木)から運行開始します

路線バスが未運行の地区における高齢者などの移動手段の確保を図るため、予約方式の乗合バスの運行を9月15日(木)から開始します。今回から全ての路線で事前予約が必要になり、予約をしないと乗車できませんので注意してください。買い物や通院、お出かけなどに、どなたでも気軽に利用してください。



◆社会実験期間
9月15日(木)～24年3月30日(金)

◆運行車両
ジャンボタクシーまたは予約状況により小型タクシー

- ◆利用方法
- ①乗車希望日の前日までに乗車する便を予約します。
 - ②停留所で乗車予約した便に乗車します。
 - ③降車場所は、停留所または区域内の集落に限り運行経路上で利用者が指定する場所とします。

ただし、交通安全上、停車できない場所がありますので、あらかじめご了承ください。

◆運賃
1回の乗車につき、下表に記載の運賃を降車する際、運転手に支払ってください。

◆その他
運行時刻やルートなどの詳細は、チラシを市役所本庁、本町分庁舎、中央公民館、水沢公民館、中条公民館、川治公民館、吉田公民館で配布しています。

◎運行路線・運行日・運賃など

路線名	発着場所		運行日 運行便数	運賃 (1回当たり)
	対象集落	市街地の停留所		
美佐島線	江道、猿倉、津池、菅沼、大池、十日町赤倉、(田川町の一部)	本町3丁目 駅通り 十日町駅東口 十日町病院 十日町市役所	月曜日、水曜日、木曜日 各6便(3往復)	200円
水沢線	天池、細尾、池ノ尻、南雲、漆島、池沢、野中、楯柄沢、水沢市ノ沢、中在家、大石、当間、珠川		火曜日、金曜日 各6便(3往復)	400円 ※土市地区までは200円
真田線	中手、中平、(名ヶ山の一部)		月曜日、木曜日 各4便(2往復)	500円
六箇線	船坂、塩ノ又		火曜日、金曜日 各4便(2往復)	400円
飛渡線	魚之田川、東枯木又、西枯木又、蕨平、三ツ山、上田原、池谷		月曜日、木曜日 各4便(2往復)	600円 ※中条病院までは400円

※水沢線と飛渡線については、「集落⇄土市地区」または「集落⇄中条病院」の利用も選択することができます

※いずれの路線も祝日及び12月31日(土)～1月3日(火)は運休します

問合せ 企画政策課企画政策係 ☎757-3193

新潟・福島豪雨 被災者への支援制度のお知らせ(追加分)

8月25日号の市報折り込みで、平成23年7月新潟・福島豪雨で被災した人への支援制度をお知らせしました。その後、制度が追加されましたのでお知らせします。詳しくは問い合わせてください。

支援制度名	利用できる人	制度の概要	問合せ
小規模急傾斜地崩壊対策事業	宅地付近の斜面崩壊で被害を受けた人	がけ地において発生した崩壊で、人家を保全するためにがけ崩れ防止工事を実施します。 【負担割合】県：50%、市：30%、地元20% 【対象条件】がけ地の高さが5m以上、人家2戸以上5戸未満(1戸の場合は被害想定区域内に公共施設があること)、事業費50万円以上が対象となります。	建設課 ☎757-9932
災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	宅地付近の斜面崩壊で被害を受けた人	がけ地において発生した崩壊で、人家を保全するためにがけ崩れ防止工事を実施します。 【負担割合】国：50%、県：40%、市：8%、地元2% 【対象条件】がけ地の高さが5m以上、人家2戸以上、事業費600万円以上が対象となります。	建設課 ☎757-9932
市民税の減免(農作物の減収に係る減免)	23年収穫の農作物減収の損失額が、平年収による損失額に係る減収額に30%以上減少する納税義務者	農作物減収の損失額に係る税金を減免します。 【注意点】①損失額は減収価格から農作物共済金額を控除した金額となります。②合計所得金額が1,000万円以下で農業所得以外の所得が400万円を超えない人に限ります。	税務課 市民税係 ☎757-3716

【その他】豪雨災害で被害を受けた道路・河川・農地などの調査測量のため、測量業者が被災箇所付近の土地の立ち入り及び測量杭の打設などを行います。ご理解ご協力をお願いします。

長野県北部地震で被災した地域コミュニティ施設の復旧を支援します

助中越大震災復興基金では、3月に発生した地震で被災した地域コミュニティ施設などの修繕に対して下記の支援を行います。

◆対象：集落や町内の集会施設(市が所有する施設は除く)、コミュニティ活動の場として長年利用されている鎮守・神社・堂・ほこらなど。

	【小規模集落(20世帯未満)】	【小規模集落以外の集落(20世帯以上)】
対象経費	修繕に係る事業費額	修繕に係る事業費額—100万円 (100万円は地元最低負担額)
補助額	○対象経費100万円以下の場合 対象経費—世帯数×5万円 ○対象経費100万円を超える場合 (対象経費—100万円)×3/4以内+(100万円—世帯数×5万円)	対象経費の4分の3の額以内
限度額	○集会施設の場合は上限なし ○鎮守・神社・堂・ほこらなどの場合は2,000万円	

※世帯数は平成23年8月31日現在

【復興基金に関する注意事項】

- ◎着工済の工事は対象とならないので、着工前に申請手続きをしてください。
- ◎対象経費は、施設ごとの算定となります。
- ◎原形復旧が原則となります。
- ◎復旧額が次の金額に満たない場合は補助の対象となりません。

- ・世帯数が20世帯未満の集落・町内→世帯数×5万円
- ・世帯数が20世帯以上の集落・町内→100万円

【その他】長野県北部地震で被災した集会施設の本年度中の修繕については、下記まで相談してください。

◆問合せ：企画政策課協働推進係☎757-3693、または各支所地域振興課

まちづくりのルールをつくる

自治基本条例、はじめます



地域の課題は、地域で考え、地域の責任と判断で解決していくことが、まちづくりの基本となります。まちづくりを進める上での考え方やルールを明文化したものに、自治体の憲法ともいわれる「自治基本条例」があります。十日町市では、この「自治基本条例」策定に向けた取り組みを、本年度から本格的にはじめます。

自治基本条例って何？
地域の課題解決やまちづくりに関する基本的な考え方やルールを定めるものです。まちづくりについて「市民・地域・各種団体・議会・行政」など、あらゆる主体の「役割・権利・義務・責任」を明確に定めていて、「自治体の憲法」とも呼ばれています。

自治基本条例は、最上位の条例
まちづくりに関してあらゆる主体の関わり方を定める条例であることから、自治体の条例の中で最上位に位置するものとなります。そのため、ほかの条例や新たに制定する条例も、この考え方やルールに適合しなくてはならず、改正が必要となる場合もあります。

自治基本条例情報特集



問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693

〈資料編〉
●全国の自治基本条例制定市町村数：182（平成22年3月31日現在）
●新潟県内制定市町村数：8（新潟市、上越市、新発田市など）

なぜ、この条例がいま必要なのですか？

【理由①】
豪雪・地震・豪雨災害への備え
地震や豪雨などの災害は、地域・住民・行政のそれぞれの役割分担と連携のもと、迅速な行動が強く求められています。

【理由②】
「公共サービス」の担い手づくり
（新しい公共）
企業や各種市民活動団体が、公共サービスの担い手として活躍していますが、この流れをさらに大きなものにするための仕組みが必要です。

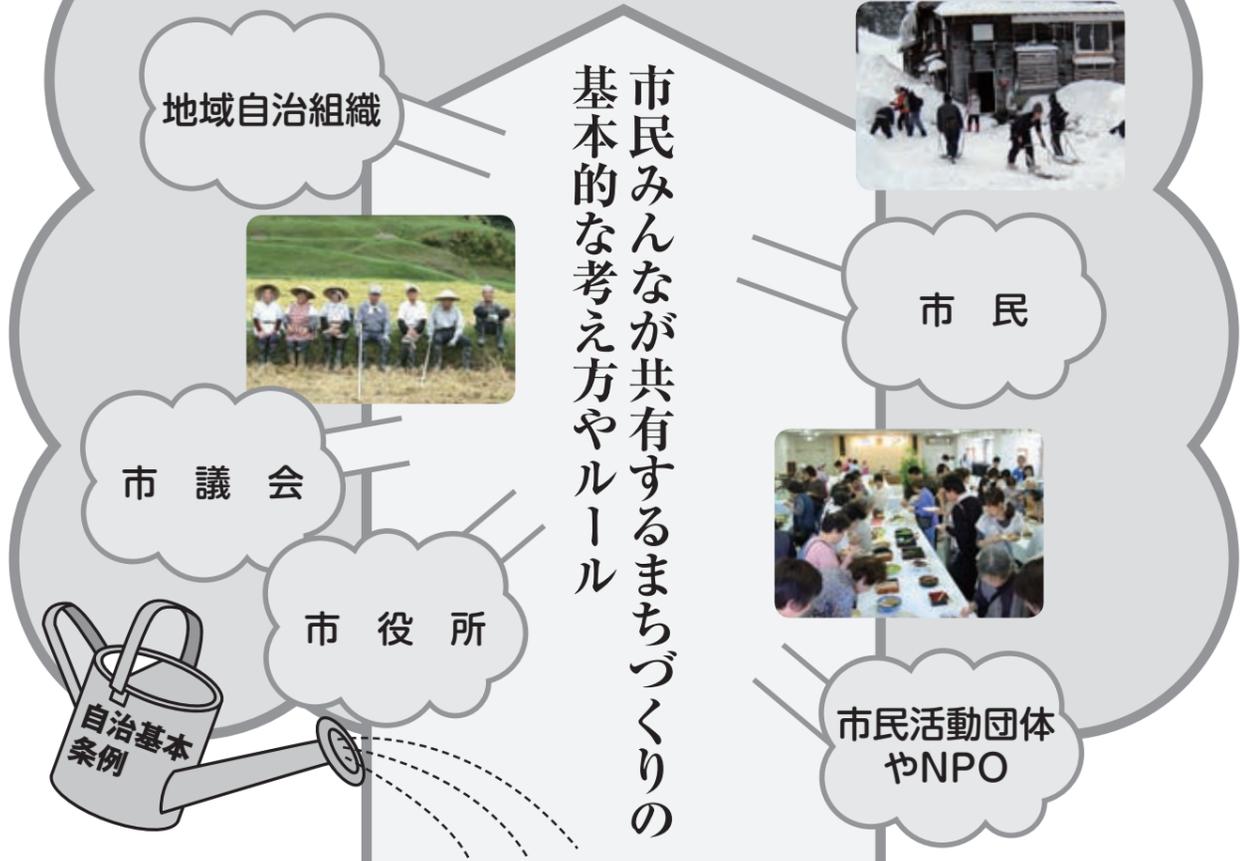
【理由③】
新しい地域自治組織（24年度からのスタート）
地区振興会や地区協議会を地域自治の担い手として位置付けた、新しい地域自治組織の検討を進めています。

3つの理由がそろった今だからこそ、自治基本条例の検討をはじめます。

自治基本条例が目指すもの（イメージ図）

向こう30年後を見据えた十日町市の将来像を市民みんなで共有する。

- 地域自治の推進……住民の考えに基づく地域運営
- 協働のまちづくりの実現……地域の課題は地域で考え、責任を持って解決していく
- 新しい公共の担い手づくり……公共サービスは、みんなで担う



現状：それぞれが自分たちの思いやルールで活動しているため、力が分散していて結集されていない



市長や担当者が変わっても生き続ける「条例」

条例の継続性

自治基本条例に限らず、条例は市議会の議決を経なければ制定できません。一度つくった条例は、市長が変わっても担当者が変わっても将来にわたり生き続けます。つまり、まちづくりの基本的な考え方やルールを条例で定めるといふことは、数十年先の十日町市の将来像を見据えたまちづくりの方針を示すことであり、より慎重な姿勢が求められます。

市役所の職員だけでつくったのでは、何の意味もありません。多くの市民が関わってさまざまな意見や思いを形にすることが大切です。



条例をどのように活用するかが重要

自治基本条例は、出来上がればゴールではありません。大事なことは、条例の中で定められている基本的な考えやルールが、市民の皆さんに正しく理解され、そのルールや考えに基づきまちづくりが行われていくことが目的となります。



自治基本条例をきちんと理解してもらうために、「市民勉強会」が開催されます。みなさんのお来場をお待ちしています。

自治基本条例検討事業スタート!!

8月20日(土)、市民会館で「十日町市の自治、まちづくりを考えるシンポジウム」が開催されました。これは、自治基本条例の検討事業をスタートするにあたり、市民の皆さんから、自分たちの住む地域の自治やまちづくりについて、改めて考えるきっかけづくりとして開催されたものです。

◎講演

「自治、まちづくりのルールを考える」
講師：牛山久仁彦さん
(明治大学政治経済学部教授)

【講演要約】

■「市」の株主は市民
「市」というと市役所をイメージする人が多いかもしれませんが、法律では「市民」も含まれます。会社でいうと、市民は株主です。そのため、市が条例をつくるというのは、株主である市民にも責任があるので、人任せにはいけません。

■自治基本条例は、市役所の職員が作る条例ではない
市長・議会・市役所に求めるものをきちんと定めるのが自治基本条例です。同時に、行政や議会だけでなく、市民や地域についても、その責任や権利を定めるものです。

市役所の職員が、先進地の条例をまねて、立派なものをつくったのでは意味がありません。市民みんな、十日町市に必要な条例を定めることが大切で、十日町市に合ったものでないと何の意味もないのです。



シンポジウム様子

「とおかまち流まちづくりの条例を考える会」メンバーを募集します!!

自治基本条例策定のために、その素案づくりや市民みんなが共有するための方法を具体的に検討し活動する人を募集しています。ふるってご応募ください。

●募集要項

1. 期待する役割と活動内容
 - (1)自治基本条例の素案を作成すること
 - (2)自治、まちづくりの仕組みや自治基本条例の必要性の検討（調査・研究、地域・団体へのヒアリングなど）
 - (3)自治基本条例が市民みんなのルールとして共有されるために情報発信に関わること
※会議（ワークショップ）は夜間及び休日になる場合があります
2. 任期：12月から平成25年3月まで
3. 募集人員：10人程度
※構成員は次のとおりです（公募市民10人、地域・団体枠10人、市職員5人）
4. 応募要件：自治基本条例の素案づくりに興味のある十日町市民（年齢制限なし）
5. 応募方法：次の内容を明記のうえ、直接・郵送・FAX・電子メールのいずれかで提出。
①住所②氏名③生年月日④電話番号⑤応募しようと思った動機をまとめたもの
6. 募集締切：11月25日(金)
7. その他 (1)書類選考をする場合があります。
(2)応募を希望する人は、8ページの市民勉強会にぜひ参加してください。

●応募・問合せ：企画政策課協働推進係

〒948-8501十日町市千歳町3-3 ☎757-3693 FAX752-4635
電子メール：t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp

自治基本条例・市民勉強会開催のご案内

「自治基本条例って何?」「市民の憲法って何?本当に必要な?」そんな疑問を解決し、自治基本条例の理解を深めるための勉強会を開催します。

少人数で開催する予定ですので、気楽に意見交換も出来ます。「自治、まちづくり」について真剣に考えてみましょう。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

●講師：牛山久仁彦さん（明治大学政治経済学部教授）

●内容：「自治、まちづくりの担い手は誰か」「条例とは一体何か」「自治基本条例で何が変わるのか」などをテーマに講義。その後意見交換などがあります。

日程と会場

No	日 程	時 間	会 場
1	10月6日(木)	午後7時～8時30分	情報館
2	10月15日(土)	午後2時～3時30分	情報館
3	10月15日(土)	午後7時～8時30分	松之山自然休養村センター
4	10月16日(日)	午後2時～3時30分	ユーモール
5	10月30日(日)	午前10時～11時30分	松代ふるさと会館
6	10月30日(日)	午後2時～3時30分	千手中央コミュニティセンター

※基本的に同一の内容となっています。都合の良いときに参加してください。

参加を希望する人は、事前に企画政策課協働推進係に連絡してください。

楽しかった夏をレポート♪

越後妻有大地の祭り2011夏が閉幕しました

■問合せ：観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637

7月28日(木)～8月28日(日)に開催された「越後妻有 大地の祭り2011夏」では、「越後妻有の林間学校」や空家作品の開館、特別企画展、アートツアー、震災で壊れた作品の修繕などに多くの人が参加しました。この夏に実施したワークショップや展覧会をいくつか紹介します。

今年の夏の取り組みは、来年開催する「大地の芸術祭 越後妻有アートリエンナーレ2012」につながっていきます。

越後妻有の林間学校

さまざまな分野の専門家やアーティストによるワークショップ、講演会からなる「越後妻有の林間学校」には、被災地や地元、都市



演出家の宮本亜門さんの講演会とワークショップ(まつだい「農舞台」)

の子もたちと大人が集い、約170人が参加しました。このうち、東日本大震災の被災地の福島県と宮城県から150人を超える人たちを招待しました。猛暑続きの中、参加者からは笑顔があふれ、越後妻有の活動に関わる市民やスタッフは逆に元気をもらっていました。

まつだいい棚田バンク草刈り

福島県石川義塾中学校の1年生20人が参加したコース(8月5日(金)～7日(日))では、担当の先生の「外で思い切り子どもたちを活動させてあげたい」という希望に応え、地元の匠による指導のもと、



まつだいい棚田バンクでの草刈り(室野)

まつだいい棚田バンクの里親と林間学校参加者が、「まつだいい棚田バンク(室野)の草刈りをしました。早起きをして、おいしい米作りに欠かすことのできない草刈りをした後は、田んぼのそばで地元のお母さんが握ったおにぎりをほおばりました。

伊沢和紙工房 うちわづくり

かつて犬伏集落の産業だった伊沢和紙。この和紙づくりの伝統を受継ぐ地元住民が講師となり、「紙すき」や「うちわづくり」に挑戦しました。最後は伝統芸能・松茸太鼓の紹介もあり、幼児から大人まで犬伏集落の伝統の技に触れた1日を楽しみました。



ハサミで切りこみを入れて手作りちょうちんが完成(筋平)

あさって
明後日朝顔タネちょうちん
をつくろう!



伊沢和紙のつくり方を習う子どもたち(犬伏)

い中、参加者たちは朝顔をスケッチしたあと、その紙を竹の棒に貼りつけ、曲げて最後にハサミで切りこみを入れて完成させました。

大歓声の中、竹に吊るされたちょうちんは、青空高く掲げられました。竹が折れるハプニングもありましたが、作ったちょうちんは参加者が大事に持ち帰り、筋平集落の盆踊りでも使われました。

鬼太鼓座の音／リズムの授業



竹筒を吹いて鬼太鼓座から音を学ぶ参加者(まつだい「農舞台」)

創作和太鼓集団・鬼太鼓座といっしょに「世界のリズム」を体験しました。耳を澄ましてよく「聴く」ことや、たくさんの人と「息を合わせる」ことも練習。4つのグループに分かれ、練習の成果を

披露しました。

また、宮城県石巻市立萩浜小学校の子どもたちが大漁旗をもって南中ソーラン節にのって踊りを披露、市内からも水沢地区芸能保存会の子どもたちが参加し、石場かちを披露しました。水沢地区の子どもたちからの贈り物が、エールとともに萩浜小学校の子どもたち一人一人に手渡されました。

Skinnyキム・アンダーソン展

大地の祭り期間中は、特別企画展「Skinnyキム・アンダー

ソン展」がまつだいい「農舞台」で開催されました。2011年オーストラリア・ハウスの制作滞在プログラムに選出されたキム・アンダーソンさんが、7月初旬から約1か月間、松之山小谷集落の民家に滞在。7月中旬には、公開制作を行いました。多くの地元の人たちに協力してもらい、その人の人生の軌跡が表れる手や足をつぶさに観察する作品を発表してきたアンダーソンさんは、地元の人たちの手形や足形をとったり、民家や集落の小道や木々をこすり絵にしたりしました。完成作品



完成した作品とキム・アンダーソンさん

は、8月1日(月)～31日(水)、まつだいい「農舞台」のギャラリーで展示されました。

協働のまちづくりモデル事業

みんなの芸術祭・地域おもてなし事業

「越後妻有! すてき発見! ツアー」

大地の芸術祭の来訪者への市民のおもてなし向上を目的に実施している「みんなの芸術祭・地域おもてなし事業」では、作品や地域の魅力をもっと知り、来年の大地の芸術祭のおもてなしに役立てたいと、「越後妻有! すてき発見! ツアー」を実施しました。当初4回開催の予定でしたが、豪雨災害の影響などにより8月21日(日)のみの開催となりました。

ツアーガイドとして乗車した上村吉徳さんからは、「ガイドになってもらい、おもてなしに役立ててほしいです。それができなくても、口コミで友人などに芸術祭のことや、この地域のことを広めてほしいです」という話がありました。参加者からは、「日頃なんとなく見ていた景色が新鮮に見えた」「芸術祭に至るまでの話が聞けて良かった」などの声がありました。来年の大地の芸術祭での来訪者へのおもてなしのために、地域の魅力を再認識した一日でした。



作品の説明を聞く参加者(光の館)

十日町圏域の救急医療

県立十日町病院の救急医療現場 からのメッセージ

■問合せ
地域中核病院建設推
進室 ☎ 757-3187

9月9日は救急の日、この日を含む9月4日から10日までが救急医療週間です。

昨年、十日町地域消防本部が対応した医療機関への搬送回数は2、420回。このうち十日町圏域（十日町市と津南町のエリア）の病院への搬送は、県立十日町病院が1、843件（76・2%）、県立松代病院は123回（5・1%）、厚生連中条病院は29回（1・2%）、駒上村病院は37回（1・5%）、町立津南病院は145回（6%）となっています。

救急医療といってもその症状によって比較的軽度なものから重篤なものまで多岐にわたり、受診する医療機関も時間帯や曜日によって違いがあります。そこで十日町圏域の中核的病院として、救急医療をはじめとする地域医療に尽力している県立十日町病院長の塚田芳久さんから、県立十日町病院の救急医療対応の現状などについて寄稿してもらいました。



県立十日町病院長 塚田 芳久さん

救急医療を支える

入院を要しない時間外受診を、都会ではコンビニ受診と称しています。心配や不眠が主な理由であつたり、何日も前からの症状で時間外受診したりすることに、医師として抵抗感があります。しかし、急を要する病気が否か判断することは、医師でも難しいので一

方的に非難できないと思っっています。魚沼基幹病院が出来るまでは、県立十日町病院は十日町圏域にとどまらず、魚沼圏域救急の最後の砦になろうと思っっています。意識込みはあつても医療者不足です。で、都会の大病院のような至れり尽くせりの対応ができません。皆さんからは苦言も寄せられますが、山間僻地には珍しい救急や災害医療に熱心な病院として、住民の安心に寄与していると自負しています。

病気はいつ・誰に起こるか、詳しい予測はつきません。私を例に取れば、高血圧でメタボ肥満も加わり、外食の誘いも多く、飲食はあまり制限していませんので、心筋梗塞や脳卒中やがんの予備軍です。しかし、心筋梗塞と脳卒中とがんのいずれが早いかわかりません。病気の確率予想が降水確率並みな

様態について厳しい選択を受け、紹介するにも高いハードルがあります。全国的に救急車受け入れ困難状態が日常化していると言えま

す。そのような状況の中ですから、県立十日町病院には南魚沼圏域や小千谷圏域など他圏域からの搬送依頼も受けるようになりました。県立十日町病院の救急搬送受け入れは、平日や休日の区別なく、1日5台前後と平均しています。救急車を依頼する病状発生は、曜日に関係なく均一に起こっていることがわかります。

救急車搬送受け入れ以外にも、県立十日町病院の時間外診療患者数は年間1万人近く（1日20人以上）になります。一般に医療機関



の診療受付時間は、平日8時間、土曜日4時間です。さらに十日町圏域は、休日在宅当番医制度として日中の8時間が加わります。これらを合わせると診療受付時間は1週間52時間となり、夜間を含めた1週間（168時間）のうちの約3割となります。残る7割の時間帯の受診に備える、自治体や医師会立の急患センターはありませ

言って、出張を敬遠する若手医師がいるのも事実です。他の地域では死語になりましたが、ここでは「お医者様」として大切に扱ってくれる人が大勢います。その成果として、医師不足が言われ始めたこの数年間ですが、常勤医が減らずにいる魚沼圏域で唯一の病院となりました。病院医師確保には、国の施策に従って、第一の主治医を開業医や近くの病院とし、救急や第二の主治医として十日町病院を扱ってもらいたい



らすばらしいのですが、実感としては地震予測に近いでしょうか。「降水確率は10%だから傘は要らない」と言えば納得ですが、「手術の危険度5%ですから覚悟が必要です」と言われてもピンとこないかもしれません。医療の確率は病気が軽いわけではなくて、確率が低くても自分に起これば大騒ぎです。

予測が難しい地震には、耐震建設や災害訓練が重要と言われるようになってきました。同様に病気の備えも、救急医療や災害医療が大切になります。この十日町圏域は、新潟市に匹敵する広い面積に、山や雪という自然の障害物があり、救急搬送に時間がかかります。救急搬送中の悪化を少なくするため、現場への医師派遣（スポット型ドクターカー）や救急搬送の全例受け入れによる早期診断、搬送前治療に努力し、都会の対応を超えている地域であると高い評価を受けています。

救急病院への搬送問い合わせに對して、満床や専門医不在を理由にした受け入れ拒否（通称「たらい回し」）が問題になっています。二次医療機関から三次救急（基幹病院）への搬送依頼にも、患者の

と思います。

急性期は十日町病院の病床を使い、すつかり元に戻ったわけではなくても、病状が安定したら療養型病床や在宅療養に移行することにも協力してもらいたいと思っます。皆さんの病気が一番ですが、国の事情や地域の状況もご勘案いただき、病院を有効に大切に利用していただければ幸いです。

新潟県小児救急医療 電話相談事業

新潟県では、医療機関が休みの土・日曜日、祝日などの夜間に、子どもの急病で困っている人のために「小児救急医療電話相談」を実施しています。

- ◇実施日時…土・日曜日、祝日及び年末年始の午後7時〜10時
- ◇専用電話…☎ 025-288-2525 ※携帯電話またはパソコン回線の固定電話で、#800と押ししてもつながります
- ◇料金…無料（電話料金負担）
- ◇その他…「いがた医療情報ネット（<http://q.nisat-iyaku.jp/>）」で小児救急冊子「いごもの急病・事故」を入手することが出来ます

新潟県少年の主張大会 ～わたしの主張～

十日町・中魚沼地区大会 最優秀賞は村山駿さん

8月9日(火)、市民会館で「新潟県少年の主張大会～わたしの主張～十日町・中魚沼地区大会」が行われました(主催:新潟県十日町地域振興局)。この発表会は、中学生が日常の暮らしの中で感じたこと、考えていることについて発表することで、自らが健康な体や心を育むことに努め、また、住民の皆さんにも中学生が感じていることへの理解を深めてもらうことを目的として毎年開催しています。

十日町・中魚沼地区大会は、域内の13の中学校から選ばれた代表者による発表会として行われました。最優秀賞に選ばれた村山駿さん(松之山中3年)は、「輝き」と題して、自分のスキー競技体験と、長野県北部地震で被災した後のボランティア活動を通して感じたことをテーマに発表しました。村山さんは、9月24日(土)に長岡リリックホールで行われる新潟県大会に出場します。

審査結果を待つ間のアトラクションの部では、南中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会が行われ



最優秀賞の村山駿さん(中央)、優秀賞の宮沢佑花さん(左)と齋喜春香さん(右)



司会役の山田崇真さん(下条中2年)と田中美月さん(下条中3年)

ました。また、司会進行を2人の中学生が務めるなど、発表以外の場面でも中学生が活躍する大会となりました。



わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会

発表した皆さん(敬称略)

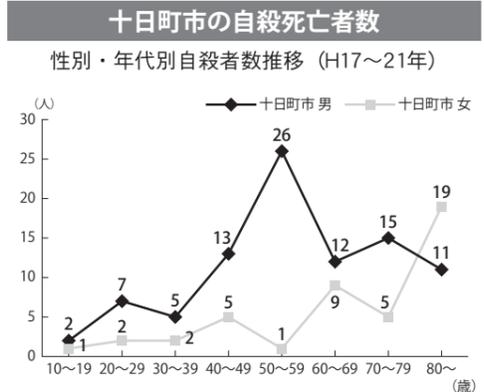
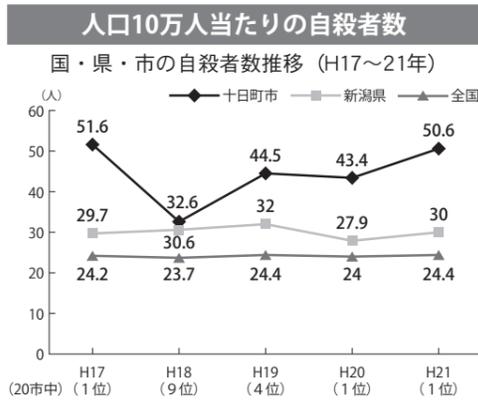
- ◆最優秀賞
村山 駿(松之山中3年)
- ◆優秀賞
宮沢佑花(水沢中3年)・齋喜春香(津南中2年)
- ◆特別賞・記者クラブ賞
高橋芽生(川西中2年)
- ◆奨励賞
進藤光基(吉田中3年)・児玉怜美(南中3年)・佐藤里紗(中条中3年)・小宮山紗理(下条中2年)・小林公介(上郷中3年)・涌井聖奈(十日町中1年)・高橋芽生(川西中2年)・山田太政(中里中3年)・神戸隆太(津南中3年)・佐藤稜(松林中3年)

かけがえのない大切な命を守ろう

◆9月は「新潟県自殺対策推進月間」です。たった1つの命です

【十日町市の自殺の状況】

十日町市の自殺死亡率は国・県の平均よりも高く、県内の20市中でも自殺率が高い状況です。性別では男性が女性の約2倍で、40～50代の働き盛りの男性と80歳以上の女性に多い傾向があります。自殺の原因・動機は、「不詳」に続き、「健康問題」が2位、「家庭問題・男女問題・経済生活問題・勤務問題」が3位となっています。



【自殺に至るまでの経過】

自殺は、個人の意思や選択の結果と思われがちです。しかし、実際には、身体疾患、負債、過労、職場環境の変化、家庭の不和、生活苦、うつ病などさまざまな要因(平均4つ)が絡み合っており、と言われています。そして、自殺に追い込まれる人の直前の心の健康状態は、精神疾患にかかっていることが多く、中でもうつ病の割合が高いと言われています。

【予防するためにできることは?】

- ① 自分自身が「できること」
- ② さまざまな悩みを1人で抱え込まず、他の人に相談する
- ③ しつかりと睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけ、適度な運動を続ける
- ④ 積極的に休養をとり、柔軟な思考でストレスをためないよう生活する
- ⑤ 「うつ病かもしれない」と思った時は早めに精神科や心療内科を受診したり、保健所や市の保健師などに相談したりする



《周囲ができること》

- ① 自殺をしようとする人は前もってサインを発していることが多いので、周囲のサポートで未然に防ぐことも少なくありません。そのため、次のことが大切です。
- ② 本人の話をじっくり聴く
- ③ 休養を勧める
- ④ 本人の変化やSOSに気づき、

必要に応じて専門家への相談を勧める

【災害後の「こころ」】 十日町市は豪雪・地震・水害と度重なる災害に遭いました。災害によりさまざまなストレスや喪失体験を経験し、不眠や不安、イライラ感や抑うつなどの反応が出る場合があります。反応が長引く場合は精神科医などに相談してください。



◎市では精神科医による「こころの健康相談」や臨床心理士による「こころの相談会」の他、無料法律相談や多重債務相談を受け付けていますので利用してください。詳細は毎月25日号市報ガイドをご覧ください。

【新潟いのちの電話】

☎025-288-4343
※毎日24時間受付
問合せ
健康支援課成人保健係
☎757-9764

第17回 十日町石彫シンポジウム

7月29日(金)から市総合体育館北側広場で、3人の作家により制作が行われていた第17回石彫シンポジウム(主催:十日町石彫シンポジウム実行委員会)は、8月20日(土)に会期を終了、除幕式が行われました。芸術文化のかおるまちづくりを目指して、平成7年度から取り組まれてきたこの事業で制作された作品は、今回で77点となりました。魂のこもった力作をぜひ現地でご覧ください。

■問合せ:生涯学習課(中央公民館内) ☎757-8918

「マチウサギ」

塚本 悦雄さん
(青森県弘前市・49歳)

バス停でバスを待っているウサギ、雪深いまちの春を待つウサギです。バス停の近くなので、サイズが少し小さめですが、バスを待つ人たちに喜んでもらえれば嬉しいです。



設置場所:本町2
Aコープ十日町店前



設置場所:ほくほく線十日町駅前
西中央通り線歩道

横山 徹さん
(神奈川県秦野市・57歳)

「環」

「環」は輪のイメージです。輪は人と人とのつながりなどさまざまな形があります。入り日に見えたり、太陽や月に見えたりというふうに、イメージを膨らませてもらえるような作品になってほしいと思います。



設置場所:本町2 北越銀行十日町支店前

ヒゲが生えた愛らしい表情と体のおもしろい形など、親しみのあふれる魚をモチーフにしました。子どもたちや市民の皆さんに触ってももらえるような愛される魚になればとても幸せです。



伊藤 哲一さん
(千葉県館山市・37歳)

「鯨」

信濃川 みんなで川ごったく ～来て・見て・遊んで・食べてみよう～



9月25日(日)開催
会場:つまりっ子ひろば(妻有大橋右岸たもと)

わたしたちのふるさとの大河、信濃川。流域住民の心の中から遠ざかりつつあった信濃川を、見て・感じて・楽しみ・親んでもらいながらその距離を近づけ、みんなでこれからの信濃川のあるべき姿をいっしょに考えていきましょう。

信濃川体感 ラフティング川下り体験

午前10時～午後4時30分(出発予定時間:①10時30分②正午③1時30分④3時)

ラフティングボートでの川下りから、ふるさと信濃川の新たな発見と体験ができます。

- 集合場所:つまりっ子ひろば
- 対象:初心者(幼児・小学生は保護者同伴)
- 体験料:1人500円
- 定員:各回先着30人程度
- コース:つまりっ子ひろば～中条下島堤防(約3km)
- 申込み:当日受付
- その他:ぬれてもよい服装・履物で参加

カヌー・カヤック体験

午前10時～午後3時

地元カヌー愛好家の指導による、カヌーやカヤックの乗船体験ができます。

- 集合場所:つまりっ子ひろば
- 対象:小学生以上
- 体験料:無料
- コース:妻有大橋付近
- 申込み:当日受付
- その他:ぬれてもよい服装・履物で参加

信濃川釣り大会

午前6時～11時

(受付5時30分～、計量・表彰11時30分～)

信濃川で釣れた魚の大きさや重量などを競います。

- 集合場所:つまりっ子ひろば
- 参加料:1人500円
- 釣り場:ほくほく線信濃川鉄橋～妻有大橋の間
- 表彰:大物賞・数釣り賞など
- 申込み:当日受付
- その他:仕掛けやエサなどは参加者で準備してください。

つまりっ子 ニジマスのつかみ取り

午前の部/午前11時30分～午後12時30分

午後の部/午後2時30分～3時30分

ニジマスのつかみ取り。捕った魚はその場で塩焼きにできます。

- 対象:幼児から中学生
- 参加料:無料
- その他:必ず素手でつかむこととします。ケガ防止のため、ぬれてもよい履物(長靴・サンダルなど)で参加してください。

信濃川のサケを味わってみよう

正午～午後1時 ※無くなり次第終了

今年、信濃川に戻ってきたサケが入った「特製サケ汁」が味わえます。

- その他:サケが捕れない場合は、食材を変更することがあります。

飲食ブース

午前11時～午後4時

焼きそば・ソーセージ・ビール・ジュースなどのほか、焼き魚(イワナ・ヤマメ)の販売

※当日の天候や信濃川の水量によってはイベントの中止、または一部実施できないものがありますので、ご了承ください

●申込み・問合せ 信濃川水なしサミット実行委員会事務局(信濃川・清津川対策室内) ☎757-3198

講座④

もしドラから地域を考える

～マネジメントを学び、地域を考える～

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：渡邊孝一郎
◇申込締切：10月7日(金)



2010年に流行した「もしドラ」。老若男女を問わず、経営学を分かりやすく学べるということで評判です。マネジメントの基礎を学び、もしドラのエッセンスを地域のマネジメントに活用し、まちづくりの課題に取り組みます。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 10月13日(木) and topics like マーケティングを学び、地域を考える.

講座⑥

韓国を読み解くキーワード

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：蓮池薫、伊東真美、金光林
◇申込締切：10月27日(木)



韓国と日本の言語や食文化の違いを、歴史的・思想的な背景から浮き彫りにすることで、新たな韓国理解につなげます。また、東アジア全体の中での韓国の経済的・文化的な役割と今後の可能性について、日本や中国と比較しながら考察します。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 11月1日(火) and topics like 似ていて違う日韓の言語文化(蓮池).

講座③

災害対処の文化史

～中世においては自然災害にどう対処したのか～

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：阿部雅明
◇申込締切：10月7日(金)



東日本大震災は平安時代初期に発生した貞観地震に似ているという指摘があります。奈良時代から戦国時代にかけて発生した災害に対して、当時の人々がどのように対処していたのかについて、文献史学に焦点を当てて考察します。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 10月12日(水) and topics like 謎の貞観地震～三陸海岸と新潟県沿岸を襲った大地震と津波～.

講座⑤

英語にマルチビタミン注入!

～本格的に英語を学びたい人のための英語教室～

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：星野三喜夫
◇申込締切：10月24日(月)



「日本人はなぜ英語が苦手なのか」をひも解き、米国オバマ大統領の就任演説や、米国人向けの自然なリズムとスピードの英語放送を聴くことを通して、日本人が学ぶべき「プラスアルファの英語力」を身に付けます。一步上のレベルの英語を目指す人に特にお勧めです。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 10月27日(木) and topics like 日本人はなぜ英語が苦手なのか?.

新潟産業大学2011 公開講座in十日町

10月から11月にかけて新潟産業大学の講師による6つの公開講座が市内で行われます。

新潟産業大学は、昨年から行われている十日町市ビジネスコンテスト『トオコン』などをきっかけに十日町市と関わりを持ち、今後も市民の皆さんとの関係を深めた活動を展開していきます。

そこで今回は、市民の皆さんに大学のことを知ってもらう取り組みの一環として、どなたでも受講できる公開講座を開催します。

大学で教えるレベルの授業を分かりやすく学べます。社会人、高校生、老若男女を問わず、大勢の皆さんが受講できます。ぜひ申し込んで参加してください。

◇講座の申込み方法

- ①講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年

年齢・性別を記載の上、はがき・ファックス・電子メールのいずれかで申し込んでください。

②受講料は、各講座3,000円(3回分)です。

※高校生及び新潟産業大学生は無料 講座初日の受付で支払ってください。

③申込み人数が4人以下の場合は、不開講になります。その場合、締め切り日またはその翌日に申込者に連絡します。

◇申込み

情報館 〒948-0072十日町市西本町2

☎750-5100 FAX750-5103

電子メール：library@city.tokamachi.niigata.jp

◇申込み・問合せ

新潟産業大学 教務課・生涯学習センター

☎0257-24-8441

講座②

経済学による処方箋

～交通渋滞から環境問題まで～

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：阿部雅明
◇申込締切：10月6日(木)



「交通渋滞はなぜ発生するのか」という身近な問題から、「地球温暖化や廃棄物処理などのさまざまな環境問題が一向に改善されないのはなぜか」といった問題まで、その原因について経済学を使って説明し、環境問題解決に向けて本当に必要な取り組みとは何かを考えていきます。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 10月11日(火) and topics like 「情けは人のためならず」を経済学で考える.

講座①

エネルギーを考える

- ◇時間：午後7時～8時30分 ◇会場：情報館
◇受講料：3,000円 ◇定員：先着30人
◇講師：藤井信行、シャハリアル アハメド、小出瑞康
◇申込締切：9月30日(金)



この講座では、原子力・火力エネルギーや太陽エネルギー、燃料電池などの新エネルギー技術について、その原理とエネルギー利用の現状を解説します。

Table with 3 columns: 回数, 期日, テーマ. Rows include dates like 10月4日(火) and topics like エネルギーと環境問題(藤井).

地産地消 新鮮

おいしい 農家の皆さんが丹精込めてつくっています。

十日町産を食べよう!

No.13 (夏) 大根

高冷地で育った、真っ白でやわらかくまっすぐな大根です。みずみずしく、漬物はもちろんサラダでもおいしく食べられます。



中里地域にある小松原(標高1,000m)の畑で生産された夏大根の出荷が始まりました。写真は桑原直幸さん(田代)が栽培している大根です。小松原畑は国営総合農地開発事業により整備された農地で、苗場山麓から広がる広大な河岸段丘の高台にあります。高冷地ならではの夏季の冷涼な気候を生かし、質の高い夏大根が栽培されています。畑から手で収穫し、傷がつかないように1本1本、手で洗って土を落とします。真っ白でやわらかくまっすぐな大根は人気があり、首都圏の高級百貨店などにも出荷されます。やわらかい夏大根の漬物は格別のおいしさです。

〈収穫時期〉8月下旬～10月上旬
〈おいしい食べ方〉漬物、サラダ、煮物 など
●問合せ：農林課農業企画係 ☎757-3120

地元で作られたものを 地元で食べる。

その営みを拡大するために、十日町で作られている農産物などを紹介していきます。



十日町市総合計画(まちづくり)に関するアンケート 調査結果を報告します

市では、市政運営の最上位に位置づけるまちづくりのための計画として、十日町市総合計画後期基本計画を平成22年度に策定し、平成23年4月からこの計画の実現に向けた市政の運営に取り組んでいます。市の現状や課題、市が実施している事務事業やサービスに対する市民の皆さんの評価などを把握するために、6月中旬にアンケート調査を実施しました。その結果がまとまりましたので概要をお知らせします。結果の詳細は、市ホームページ、市役所、各支所、各公民館及び情報館でご覧になることができます。なお、総合計画の実現に向けて、今後も毎年このアンケート調査を行いますので、ご協力ください。

■問合せ：企画政策課企画政策係 ☎757-3193

アンケートの概要と主な結果

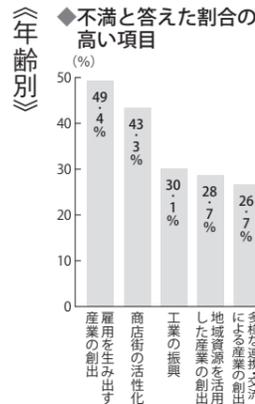
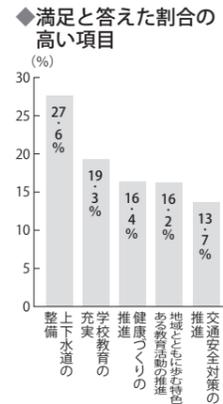
①概要

- 調査対象者…市内に在住する満20歳以上の市民(無作為抽出)
- 実施期間…6月8日(水)～20日(月)
- 調査方法…郵送で無記名による回収。(調査票配布数3,000通、回答数1,246通、回収率…41.5%)

■調査内容…暮らしについての分野別満足度、まちづくりについての施策重要度など。

②主な結果(抜粋)及び傾向

◆暮らしについて(満足度)

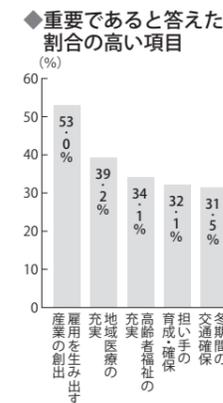


◆年次別傾向 全体の傾向とほぼ同じでしたが、特徴としては、年代が上がるにつれて、満足を感じている割合と全体的に満足を感じている割合

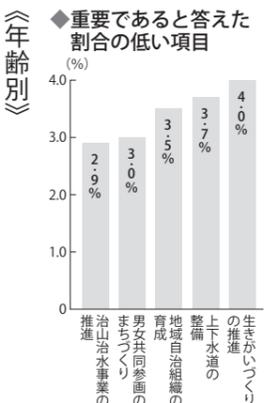
◆地域別傾向 各地域ともに、「文化・スポーツ」に対する満足度が比較的高く、「商工業」に対しては満足度が低い傾向にありました。地域ごとに満足度に違いが見られた項目もあり、例えば、「スポーツ施設の整備」については吉田地域の満足度が高く、「農道・用排水施設の整備」では川西地域の満足度が高い割合になりました。また、「高齢者福祉の充実」については十日町西地域、中条地域、水沢地域、中里地域での満足度が低い傾向にありました。[*]地域の分類は以下の11の区分：十日町地域(十日町中学校区)、十日町西地域(西小中学校区)、中条地域(中条中学校区)、下条地域、吉田地域、水沢地域、川西地域、中里地域、松代地域、松之山地域)

◆まちづくりについて(取り組みの重要度)

◆全体の傾向



◆重要であると答えた割合の低い項目 全体を見ると、市街地とそれ以外の地域での重要度に対する考えの差が明らかとなっています。特徴としては、松代地域、松之山地域では、「中山間地域の活性化」や「住宅や山間集落の克服対策の充実・支援」を重要と考える割合が他地域に比べて高い傾向にあり、十日町地域では「地籍調査の推進とわかりやすい住居表示への改善」が、十日町西地域では、「芸術・文化活動の奨励」や「商店街の活性化」の割合が相対的に高くなっています。



◆年次別傾向

「雇用を生み出す産業の創出」が、いずれの年代においても重要度が高い状況にありました。また、「中山間地域の活性化」や「住宅や山間集落の克服対策の充実・支援」は、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、「学校や学校関連施設の整備」や「児童福祉の充実」は、30代が極めて高い傾向にありました。

幸通便り

～幸せの通りみち～

シートベルト着用の徹底

昨年10月に行われたシートベルト着用率の全国調査によると、一般道での新潟県の着用率は、運転席・助手席ではそれぞれ全国平均が97.3%と92.2%なのに対し、96.5%と91.4%と若干下回っていますが、後部座席では全国平均の33.1%に対し51.8%と上回っています。また、今年5～6月にかけて行われたチャイルドシート使用率の全国調査では、全国平均の57.0%に対し、新潟県は60.5%と、こちらも全国平均を上回っていました。しかし、見方を変えると、後部座席では約50%がシートベルト未着用、チャイルドシートは約40%が未使用ということになります。昨年中の県内の自動車乗車中の交通事故による死者のうち、シートベルト非着用者は24人いましたが、その中でシートベルトをしていれば助かった可能性が高いと考えられる人が15人います。シートベルトやチャイルドシートは、万が一の事故のとき、運転者や同乗者の身を守る「大切な命綱」です。車に乗ったら必ず全ての座席でシートベルトを着用し、子どもを乗せるときはチャイルドシートを使用する習慣をつけましょう。

シートベルトは約40%が未使用ということになります。昨年中の県内の自動車乗車中の交通事故による死者のうち、シートベルト非着用者は24人いましたが、その中でシートベルトをしていれば助かった可能性が高いと考えられる人が15人います。シートベルトやチャイルドシートは、万が一の事故のとき、運転者や同乗者の身を守る「大切な命綱」です。車に乗ったら必ず全ての座席でシートベルトを着用し、子どもを乗せるときはチャイルドシートを使用する習慣をつけましょう。



新潟県交通安全マスコット ルルちゃん

●問合せ：防災安全課交通防犯係 ☎757-3197

8月の十日町警察署管内の交通事故

- ◆発生件数：21件
- ◆死者数：1人
- ◆傷者数：28人

まつだ い

松代支所
☎597-2220

蛍のようにやさしい灯り

伊沢和紙ほたるin犬伏宿

伊沢和紙は、江戸時代に長野県の内山紙の技術が伝わったとされ、傘紙や障子紙として使われてきましたが、昭和30年代にとどえてしまいました。その後、平成2年に孟地小学校の児童が伊沢和紙をすいて卒業証書を作ったことがきっかけとなり、伊沢和紙工房「樺」が平成15年に開設。「伊沢和紙ほたるin犬伏宿」は、伊沢和紙を多くの人に知ってもらうために平成15年から毎年開催され、和紙を使った照明で、幻想的な空間を楽しむことができます。今年はヴァイオリンミニコンサートや地域の歴史の講演も行われる予定です。

◆日時：10月9日(日)午後6時
～※作品点灯午後5時
◆会場：伊沢和紙工房「樺」
(犬伏)



応募作品は会場に展示されます

伊沢和紙の照明作品募集中

『伊沢和紙ほたるin犬伏宿』では、伊沢和紙を使った手作りの照明作品を募集しています。皆さんの作品をお待ちしています。

- ◆作品募集要領
- ◆伊沢和紙を使用していること (伊沢和紙工房で販売)
- ◆電球(40w以内)を使用し、大きさは1m×1m×1m以内
- ◆作品を9月24日(土)～10月1日(土)の間に、伊沢和紙工房に持参
- ◆問合せ：伊沢和紙工房「樺」
☎595-6692

ながやまクラブ通信

中里支所
☎763-3111

2度目の全国へ

軟式野球大会でV

8月6日(土)、第59回新潟県青年大会軟式野球大会が津南町中津川運動公園で行われ、中里クラブ(服部靖監督)が4年ぶり、2度目の優勝を果たしました。メンバーは中里野球連盟加盟11チームからの選拔選手。豪雪、地震、豪雨といった災害の影響で、全体練習ができていない中、迎えた大会でした。

大会には県内から5チームが出場。1回戦、準決勝と先制を許すも、その後は堅守と、打線の援護で逆転勝利。決勝の津南クラブ戦では初めて先制しましたが同点に追いつかれます。その後は両者チャンスを生かせずタイムアップ。大会規定によりじゃんけんて勝利しました。

服部監督は、「緊迫した試合展開の中、最後まであきらめない選手の高い気持が勝利につながりました。キャプテンを中心にチー



全国大会は11月11日～14日に東京都で開催予定です

みんなで自由研究したよ

8月23日(火)、中里総合センターで、「おもしろ！自由研究大集合！」が小学生を対象に行われ、しょうゆ風味のキャラメル作りや、舟の実験に挑戦しました。これは中里総合クラブYO-BEが企画。キャラメル作りでは、お菓子にしょうゆが入るため、児童の皆さんはその味に心配そうな様子でしたが、できたてのキャラメルを口に入れると、「おいしい！」と満面の笑みを浮かべていました。また、プラスチック板で作った舟をしょうゆで動かそうという実験では、しょうゆを含ませたティッシュに乗せた舟が水の上をうまく進むと「なんで？」と不思議がっていました。参加者の一人、富井千奈美さん(田沢小1年)は、「舟がよく進んだので、おもしろかった」と不思議な舟に夢中になったようでした。



おしょうゆキャラメルまだかな？

芋川集落は倉俣地区の玄関口の集落で、ゆくら妻有や清津川フレッシュパークなどの施設があります。

その清津川フレッシュパークの入口にある三角屋根の小屋を4つつなげたような建物は、おとし中越震災復興基金を活用し建設した、地域の交流拠点施設、通称“きよつづ”です。これまでに地域のイベント「清津川川っぺり音楽祭」やフライングディスクゴルフ大会の事務局、また倉俣地区の昔の写真展などを開きました。先月は地元の子どもたちと神戸大学の学生が、流木と草花を使ったワークショップで施設を活用しました。同集落の高橋敏昭さん(61歳)は、「集落の人たちが夜な夜な集まってくれるような場所になるといいですね」と更なる利用方法に思いを巡らせていました。



芋川編



産声をあげた 手作りのカラオケ大会



手拍子に合わせて熱唱

8月21日(日)、山平地区にある蒲生・儀明・寺田・名平集落の垣根を越えた交流イベント『第1回山平☆仮装カラオケ大会』が儀明劇場で開催されました。集まったのは老若男女およそ40人。会が進むにつれ、聴き手、歌い手ともにお酒で顔を赤くしながら歌や踊りに盛り上がり、交流を深めていました。儀明の村松竹一さんは、「こうした会が田舎の娯楽。会場・設備を整えて次回からより盛大にやっていたい」と話していました。

松代の自然

ホウキツバのひしゃく(コップ) 炎天下の山仕事や山歩きは、暑さとの闘いで喉が渇きます。こんな時は「露の葉で一息に飲む山清水」という地元の人々の句が頭に浮かびます。フキの葉は、この辺の方言では「ホウキツバ」と呼ばれています。その葉を図のように折り曲げて茎の繊維でうまく結ぶと簡単なひしゃくとなります。これで山清水を

すくって飲むと、冷たい水が喉を潤し、ホウキツバの香りが山清水に溶け込んで、何とも言えないよい香りがします。飲み終わったら惜し気もなく捨ててしまいますが、あたりに無尽蔵に生えているホウキツバでまた作ればいいのです。 現在は、水飲み場にはコップが備えてあるのが普通になりましたが、あえてこのようなホウキツバで作った即席のコップに哀愁を感じる人は古いタイプの人種なのでしょうか。(文とカット 高橋八十八)





服部 咲希ちゃん はっとり さきちゃん
平成21年2月1日生まれ
荒屋（写真左）

咲希ちゃんのお気に入りマル・モリ体操！よく萌笑（もえ）お姉ちゃんと踊っています。他にも海やプールなどで遊んだり、お絵かきしたりすることが大好きです。最近はお絵かきが上手になりました。

あ
い
ど
ろ
キ
ャ
ラ
ズ



蕪木 太輝ちゃん かぶらき たいきちゃん
平成19年10月18日生まれ
旭町（写真中）

桃とメロンが好物の太輝ちゃん。仮面ライダーオーズも大好きで、よく姉姉と3人で戦いごっこをして遊んでいます。夏は家族で海に5回も行きました。海やプールで落ちるようになりました。

75

生活習慣病が気になるけれど、外食を利用したいと考えている人におススメ情報。健康づくりの面から安心して外食を楽しむことができるように、さまざまな配慮をしている店があります。その配慮とは、①栄養成分表示などの情報提供 ②低カロリーメニューや野菜たっぷりメニューなどの健康に配慮したメニュー提供 ③薄味対応や半分サイズ選択ができるサービス提供 ④禁煙フロアなどの空間提供です。これらの健康づくり支援を積極的に取り組んでいる店を「健康づくり支援店」とし

応援します健康づくり「健康づくり支援店！」



問合せ 健康支援課成人保健係
TEL757-9764

て県などが指定していて、店にはステッカーなどが表示されています。いつも利用する店が「健康づくり支援店」かもしれません。店内を見回してみてください。



十日町市の健康づくり支援店は64店舗あります（平成22年9月現在）。一覧は十日町地域振興局健康福祉部のホームページ（http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_kekkou/）から閲覧できます。

健康に配慮した空間の提供

下記のうち1つ以上を提供します。

- ・終日禁煙実施
- ・喫煙室設置による完全分煙
- ・禁煙席設置による空間分煙
- ・禁煙タイム設定
- ・禁煙フロア設置

健康に配慮したサービスの提供

下記のうち1つ以上を提供します。

- ・半分サイズが選択可能
- ・うすあじ対応が可能
- ・野菜のおかわり可能

健康に配慮したメニューの提供

下記のうち1つ以上を提供します。

- ・低カロリーメニュー
- ・野菜たっぷりメニュー
- ・バランスメニュー
- ・油控えめメニュー
- ・おすすめカルシウムメニュー

栄養情報の提供

下記のうち1つ以上を提供します。

- ・栄養成分表示
- ・食事バランスガイドを活用した表示

ときめき ネットワーク

理想の店づくりは妥協せずに厳しく

中学・高校時代に友達に料理を出したとき、喜んで食べてくれたことが今の仕事をやるうと思つたきっかけです。おやじが日本料理をやっていたので、自分は違う分野に進もうと思い、最初は洋食を選びました。しかし、やればやるほど日本料理の良さが分かってきて、約7年前にこの世界に入りました。地元に戻り市内の飲食店のレベルの高さに改めて驚かされました。今、そういった志のある人たちと勉強会などをして刺激をもらっています。料理のことが少しずつ分かってきましたが、同時に料理や経営の難しさを感じています。後々は、自分の料理の味や自分自身をめがけてきてくれるようなお店にしたいです。「地に足がついた、幹の太いお店」そこだけは妥協しない自分で厳しくありたいと思います。



高橋 優介さん
1983年生
お料理処 たか橋 勤務

先月の太田留美さんからのバトンタッチ

楽しもうスポーツ つくろう健康

スポーツ振興課 ☎756-5013

初心者でもすぐに夢中に！ビーチボールバレー

ビーチボールバレーは、ビーチボール（ビニール製のボール）を使って行う4人制のバレーボールです。ボールは軽く柔らかいため指をケガする心配がありません。ボールの動きも緩やかで、簡単にボールに触ることができ、経験の有無に関係なくプレーできます。そのため、子どもから高齢者まで誰でもいっしょに参加でき、気軽に楽しむことができるスポーツです。また、楽しむことを目的としながらも、仲間同士のコミュニケーションを深め、さらに日頃の運動不足の解消に十分効果があるところが魅力です。

1978年に、富山県で考案されたといわれているこのスポーツは、1992年に日本協会が立ち上がり、全国に定着しました。市内では、平成21年からネージュスポーツクラブが普及に取り組み、第2・第4火曜日、第1・第3水曜日の定期的な教室や毎年開催される大会のほか、講師の派遣も行いながら普及に力を入れています。親子行事や町内会行事、職場のレクリエーションなどでぜひ取り組んでみませんか。

※ビーチボールバレー教室・大会・講師派遣の詳細は、NPO法人ネージュスポーツクラブ（☎752-4377）まで気軽に問い合わせてください。



街中ウォーク 目指せ地球一周40,000km 【8月20日現在の歩行距離33,985km】



このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係（☎757-3112）へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

まちの話題

TOWN TOPICS



山谷吉田神社大祭奉納煙火

7月末の水害に見舞われ、開催が危ぶまれていた山谷のお祭りが、26日深夜から、規模を縮小して行われました。見晴らしの良い段丘の上から十日町の明かりを眺めながら、煙火番付表に基づいて打ち上げられる花火は、情緒たっぷり。20歳を記念した花火や、厄年の花火もあり、身近な人の名前がアナウンスされると歓声が上がりました。「いつもなら、参道にたくさんのぼんぼりがともされ、にわかも行われるのですが、残念です」と、関口和夫さん（75歳）。その後吉田神社では、豊栄舞の奉納があり、小学6年生の女子4人が、優雅な舞を披露してくれました。（市民リポーター：門脇洋子さん）

「おいよい！」を明日のエネルギーに

8月25日(木)から27日(土)の3日間、中心市街地で十日町おまつりが開催されました。今年は打ち上げ場所の安全性に考慮して奉納煙火大会を見送り、大雨警報の発令により大民謡流し・明石万灯が中止となりましたが、八角神輿のみこし渡御は例年どおり実施されました。「おいよい(お祝い)！」のかけ声とともに、八角神輿は26日の午後から諏訪神社周辺の町内を練り歩き、最終日の27日に神社へ還御。諏訪神社協賛会長の島田一さん（神明町）は最後の挨拶で、「豪雨災害で被災されている人もいる中で祭りを開催させていただいた。“おいよい！”のパワーを明日へのエネルギーにしてもらえたら」と思いを話しました。



新潟県境震災・東日本大震災チャリティーライブ「絆」

8月20日(土)、クロス10で新潟県境震災・東日本大震災チャリティーライブ「絆」が開催されました。十日町市出身のアーティストたちによる歌や書道パフォーマンス、落語にコントが繰り広げられました。会場に来ていた鈴木静子さん（57歳）は、「地域の皆さんがこうして来てくださるのは感激して涙が出るほどありがたいですね。出演した高野千恵さんは自分の子どもと近い年なので特に印象に残りました」と語ってくれました。他にも「生の歌声が聞けてよかった」などの声が聞かれました。ライブは正午開演、午後4時終了と長時間にわたるものでしたが、第2部のお笑いライブでも笑い声の絶えないものとなりました。

富井寿大さん、全国大会でみごと優勝！

8月22日(月)、奈良市で開催された全国中学校総合体育大会の陸上競技男子1,500mで、富井寿大さん（中里中3年）が4分1秒64の県中学新記録をたたき出し、みごとに優勝しました。市内の同大会での優勝は、平成になってから3人目の快挙となります。29日(月)には市長・教育長を表敬訪問し、「優勝できたのも周りの応援や支援のおかげ。次は10月にある駅伝に全力を注ぎたい。力を付け、箱根を走れるような選手になりたい」と今後の抱負を話しました。市長は、「災害続きの十日町市に元気を与えてくれた。本当にありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。



人気監督の映画ロケが行われました

昨年放送されたドラマ『SPEC』の劇場版映画「SPEC～天」の撮影が、8月8日(月)～10日(水)になかさと清津スキー場で行われました。監督は映画「20世紀少年」など数々の話題作品を世に送り出した堤幸彦さん。撮影には「十日町市ロケ応援団」が全面協力し、スタッフ約80人の宿泊や、食事の手配などを行いました。また、撮影慰労会では「十日町市を有名にし隊ごつたく」も食事を提供。堤監督は自身のブログで、「なにもかもが親切でロケがしやすい十日町市。市の土地を使ってアートトリエンナーレを開催するなど、厳しい自然と向き合いながらも、前向きな町。仕事抜きで訪れたい場所です」と十日町市の印象を語っています。映画「SPEC～天」は2012年春公開予定です。



笹山遺跡で発掘体験

8月27日(土)から11月5日(土)まで10回の予定で行われている、「みんなで掘る笹山遺跡」発掘体験。初日の27日には事前に申し込みのあった11人が参加しました。この発掘体験は、県内唯一の国宝が出土した笹山遺跡で縄文の息吹を生で体験してほしいとの思いから実施。笹山遺跡では国宝火焰型土器の出土から29年が経過したものの、周辺には未調査の箇所があることから、本年度から25年度にかけて約1,000㎡を学術発掘します。発掘体験では、博物館の学芸員から道具の使い方や土器の見分け方などの説明を受けた後、グループに分かれて試掘を行い、約100㎡を発掘体験しました。友達といっしょに参加した太田温美さん（馬場小5年）は、「貴重な体験ができました。掘るのは大変だけど、みんなで楽しめました」と話しました。参加者を随時募集しています。詳しくは博物館（☎757-5531）へ。



産官学連携で商品受注カタログ作成中

市内のものづくり事業所の技術力や製品を県内外に広くPRし、新たな受注の獲得を図ろうと市では商品受注カタログを作成しています。作成にあたっては、カタログの魅力や読み手の関心を高めるために長岡大学と新潟産業大学の学生がリポーターとして協力。7月下旬から取材が始まり、9月までには50社ほどの社長にインタビューをします。参加した長岡大学4年の伊藤良樹さんは、「十日町市の産業振興に少しでもお役に立てればと思います。大学生目線で楽しく取材しています。」と感想を話します。十日町市ビジネスコンテストを通してきずなが深まった、大学との新たな産官学連携。学生も企業訪問することで貴重な経験を積むことができます。カタログは来年2月頃に完成する予定です。





介護予防ボランティア育成講座

介護予防の知識や実技を学んで、地域で生かしてみませんか。●日時 10月5日(11月30日の毎週水曜日(11月23日を除く全8回)) ●会場 23日を除く全8回 ●参加費 無料 ●申込み・問合せ 9月30日(金)までに十日町市社会福祉協議会(☎750-5010)

クロス10農産物直売所 出荷者事前説明会

平成24年4月に開店予定の農産物直売所出荷者の説明会。●日時 9月15日(木)午後1時～ ●会場 問合せ 23日

農地相談員を公募します

●任用期間 10月1日(土)～平成24年3月31日(土) ●勤務 週2回(月曜日と水曜日) 午前8時30分～午後5時15分 ●賃金 1日7,200円 ●募集人数 1人 ●事務内容 農地相談、農地利用状況調査、耕作放棄地調査、放棄地再生に関する調査・相談・指導 ●資格 ①農地法などに関する事務経験のある人 ②ワード、エ

サタデー市長室 ～まちづくりを話ませんか～

- ◆実施日: 11月26日、12月24日、平成24年1月28日、2月25日、3月24日(10月はありませぬ)
- ◆会場: 本庁市長室または応接室
- ◆対象: 市内に住所または勤務地・所在地がある10人以内の団体(個人からの申請は受け付けませぬ)。「市長への便り」をご利用ください
- ◆申込み方法: 住所、氏名、年齢、電話番号、話したい内容などを明記のうえ、FAX、電子メール、郵送などで事前に申し込んでください。受付は先着順です。(開催日の3日前締切り)
- ◆対話時間 ①午前9時から②午前10時から(1組50分以内)
- ◆出席者: 市長ほか関係職員
- ◆その他: 内容は市政に関するものに限りませぬ。要望や市の制度に関するものなど、内容によっては担当課で対応する場合があります。市長公務の都合などにより実施できな場合があります。「市長への便り」「ふれあいトーク」もご利用ください。
- ◆申込み・問合せ 企画政策課広報広聴係 ☎757-3112

南中・下条中・吉田中・川西中 4校合同演奏会

●日時 9月23日(秋分の日) 午後1時30分(開場1時) ●会場 市民会館 ●入場料 無料 ●内容 第一部 各校ステージ、第二部 合同演奏 ●ゲスト指揮者 池田芳幸さん ●問合せ 川西中学校・丸山(☎768-2066)

タクトオータムコンサート in キナーレ

タクト(十日町市民音楽協会)とキナーレの共催です。●日時 9月25日(日)午後1時 ●入場料 無料 ●出演 23日を除く全8回 ●会場 23日を除く全8回 ●参加費 無料 ●申込み・問合せ 9月30日(金)までに十日町市社会福祉協議会(☎750-5010)

高山十五夜まつり

●日時 9月17日(土)午後7時 ●会場 高山八幡宮境内 ●内容 西小いたずら太鼓、高山婦人会の踊り、高山体協の芝居、お楽しみ抽選会ほか

クセルが使える人 ③市内在住で中里庁舎に通勤可能な人 ●応募方法 問合せ 9月22日(木)までに履歴書を十日町市農業委員会事務局まで提出(☎763-2515)

ほくほく線元気まつり ボランティアスタッフ募集

よさこいと松代のそばを楽しむ祭りです。●日時 10月16日(日)午前8時～午後5時 ●会場 23日

問合せ 高山地区体育協会・滝沢(☎090-7423-2293)

十日町病院「健康祭」

●日時 9月23日(秋分の日) 午後0時30分～4時30分 ●内容 健康チェック、講演「健康の恩恵」塚田芳久さん(十日町病院院長)・コンサート 午後1時30分～4時15分(受付1時) ●会場 23日

創立20周年記念 中之島流第19回大正琴おさらい会

●日時 10月2日(日)午後1時～(開場0時30分) ●会場 23日 ●入場料 無料 ●曲目 「荒城の月」「虹色のバイヨン」ほか ●問合せ 23日

住宅火災警報器相談会

スーパードールすくいのイベントもあります。●日時 9月18日(日)午前10時～午後3時 ●会場 23日 ●問合せ 23日

駅、松代本町通り ●対象 高校生以上 ●業務内容 23日 給水所の運営、会場・駐車場の整理 ※休憩・昼食あり ●申込み・問合せ 9月30日(金)までに松代公民館(☎597-2301)

駅通りなんでも自慢 カーニバル参加者募集

自慢の芸や踊り、ダンスなどを披露しませんか。当日の飛び入りも大歓迎です。 ※1組20人以上 ●日時 10月9日(日)午前10時30分～午後2時40分 ●会場 木村屋前(駅通り) ●演舞時間 1組10分程度 ●申込み・問合せ 9月30日(金)までに十日町商工会議所(☎757-5111)

着物リフォームファッションショー参加者募集

思い出の着物を自分で洋服にリメイクし、パーティーでモデルとして参加しませんか。 ●日時 10月1日(土)午後6時30分 ●会場 23日 ●申込み・問合せ 樋口(☎09-07200-3700)

(☎752-3295)

第21回新潟県パターゴルフチャンピオン大会

●日時 9月17日(土)午前7時30分 ●会場 23日 ●参加費 2,500円(プレー代・軽食代込み) ●定員 先着80人 ●申込み・問合せ 9月14日(木)までに参加費を添えてサンパレスナカゴ(☎768-4419)

第7回 デジカメしよう華写真展

●会期 9月13日(火)～22日(木) ●会場 23日 ●問合せ 小林(☎757-4469)

ひとり親家庭くらし子育て応援セミナー

バルーンアート体験や弁護士による講演会、法律や養育費などの個別相談のほか、懇談会を開催。 ●日時 10月23日(日)午前10時～午後3時 ●会場 23日 ●対象 ひとり親家庭の親子30組 ※保育ルームを設置 ●申込み・問合せ 9月22日(木)までに(社)新潟県母子寡婦

訪問介護員養成研修 2級課程受講者募集

詳しくは問い合わせください。 ●受講料 40,000円 ●定員 30人 ※応募多数の場合は抽選 ●会場 23日 ●ふる川西及び市内福祉施設 ●対象 市内在住の60歳以下の人で、全課程を受講できる人 ●申込み・問合せ 9月20日(火)までに十日町市社会福祉協議会(☎750-5010)

県立魚沼テクノスクール 24年度入校生募集

詳しくは、募集要項を請求してください。 ●募集科 ①木造建築科 ②電気施設科 ③エクステリア左官科 ●受験資格 ①推薦選考 ②24年3月高校卒業見込者 ③は実施なし ●一般選考 ①中学校卒業以上でおおむね30歳以下 ②高校卒業以上でおおむね30歳以下 ③中学校卒業以上で若年離職者 ※年齢が31歳以上の人は事前に相談してください ●受付期間 ①推薦選考 9月12日(月)～30日(金) ②一般選考 10月11日(火)～11月2日(水) ③

福祉連合会(☎025-243-4380)

工業教育フェスタ

明日をつむぐ技術の力をテーマに開催します。 ●日時 10月2日(日)午前10時～午後3時 ●内容 作品展示、ロボット競技大会、ワークショッ プほか ●会場 23日 ●塩沢商工高校(☎025-782-1111)

憲法講演会 東日本大震災と憲法

●日時 9月17日(土)午後2時～4時30分(開場1時30分) ●会場 新潟ユニゾンプラザ(新潟市) ●入場料 無料 ※申込み不要 ●内容 講演「震災と放射能被害と憲法25条・29条、災害救助・救援活動と自衛隊と憲法9条」水島朝穂さん(早稲田大学法学学術院教授) ●問合せ 新潟県弁護士会(☎025-222-5533)



求・問合せ 県立魚沼テクノスクール(☎025-794-2410)

介護補助員講習 受講者募集

●受講期間 10月12日(水)～14日(金)、17日(月)～20日(木)(7日間) ●会場 23日 ●対象 55歳以上 ●受講料 無料 ●定員 20人 ●内容 介護に関する講義や実技、介護職場体験、救急救命、認知症サポーター養成講座など ●申込み・問合せ 9月28日(水)までに(社)十日町地域シルバー人材センター(☎758-4809)

県立上越テクノスクール 在職者訓練(技能向上コース) 受講生募集

JWCADを使った作図の中級編を習得します。 JWCAD(初級編)コースを受講された人、またはJWCADの基本的知識のある人が対象です。 ●日時 10月15日(土)～22日(土)午前9時～午後4時 ●受講料 2,400円 ●定員 10人 ※応募多数

の場合は抽選●申込み・問合せ 9月29日(木)までに県立上越テクノスクール(☎025-545-2190)

平成24年度 県立テクノスクール訓練生募集

高校卒業後向けと中学校卒業後向けのコースがあります。●各テクノスクール①新潟②上越③三条④魚沼⑤コリス⑥NC機械科、電気システム科、自動車整備科(※一般のみ)⑦自動車整備科メカトロニクス科、ビジネススタツフ科⑧メカトロニクス科、工業デザイン科、生産システム科(中卒向け)⑨電気施設科、木造建築科(中卒向け)●募集 9月12日(月)〜30日(金)(推薦)、10月11日(火)〜11月2日(水)(一般)●問合せ 新潟県職業能力開発課(☎025-280-5262)



十日町病院から眼科休診のお知らせ

9月20日(火)・21日(水)は眼科が休診となります。ご理解とご協力をお願いします。●問合せ 十日町病院(☎757-5566)

9月11日は「けいさつ相談の日」

県警では、普段から警察本部や各警察署に相談室を設け、事件事故のほか、困りごとや悩みごとの相談に応じています。相談は無料で秘密厳守です。気軽に相談してください。●けいさつ相談室(警察本部) 9月11日 または ☎025-283-9111 0 女性被害110番 ☎025-281-7890 ●十日町警察署相談室 ☎752-0110

「法の口」週間 ぐらゐの無料相談

不動産登記や土地の境界、会社・法人登記、戸籍・国籍、供託、家庭内や近隣間の悩み、多重債務などの相談を無料で受け付けます。秘密厳守です。●日時 10月4日(火) 午前10時〜午後3時 ●会場 十日町市民プラザ

十日町合同庁舎●相談員 法務局職員、人権擁護委員、司法書士、土地家屋調査士 ●問合せ 新潟地方務局十日町支局(☎752-2575)

国有財産を売却します

詳しくは問い合わせてください。※入札に必要な手引書を9月16日(金)まで長岡国道事務所へ交付しています。●土地 ①四日町新田266-4(249・87㎡) ②四日町新田267-4外1筆(515・19㎡) ●現場説明 9月20日(火)午前10時30分(現地集合) ●申込期限 9月27日(火) ●入札日時・場所 9月30日(金)午前11時・長岡国道事務所 ●問合せ 国土交通省長岡国道事務所経理課(☎0258-36-4561)

大学等合同企業説明会

主な就業地が下地域を中心とした県内の企業が参加する学生対象の合同企業説明会です。●日時 9月29日(木)午後1時30分〜4時 ●会場 朱鷺メッセ(新潟市) ●対象 平成24年3月に大学などを卒

寄付ありがとう

- 8月25日届出分まで(敬称略) ●とおかまち応援寄附金=樋口美作(東京都調布市)、阿部徳次(東京都立川市)、稲垣祥一(東京都大田区)、五十嵐正子(新潟市中央区)、岩田東一(東京都中央区)、秋山透(埼玉県さいたま市)、生越雅彦(千葉県千葉市)、樋口茂(埼玉県上尾市)、樋口零子(埼玉県上尾市)、菅原久人(千葉県習志野市)、北川フラム(東京都目黒区) ●情報館へ=内山吉晴(田川町2)、関口和夫(吉田山谷)、庭野勇吉(高田町3南)、ホープ歯科(寿町2)、関口正哉(加賀糸屋町) ●妻有焼陶芸センターへ=サイエンス株(本社:埼玉県さいたま市、生産部:津南町/陶芸用電気炉300万円相当)

業予定の人・平成21年3月以降に大学などを卒業した人 ●参加企業 50社予定 ●問合せ ハローワーク新潟若者しごと館(☎025-240-4510)

新潟県労働委員会による労働トラブル相談会

労使関係に豊富な知識や経験がある委員(弁護士や労働組合役員、会社経営者など)が、労働者や事業主を問わず、労使間の問題解決に向けてアドバイスします。●日時 10月15日(土)午後1時30分〜4時 ※事前申込みが必要 ●会場

上越市市民プラザ ●内容 解雇、賃金未払い、退職金、パワハラなどの労使間のトラブル ●申込み・問合せ 県労働委員会事務局総務課(☎025-280-5546)

「市報おわびと訂正」

市報8月25日号4ページ「市内で放射能を測定した結果を報告します」の測定結果の表示に誤りがありました。正しくは、地表10cmの数値が地上1mの数値、地上1mの数値が地表10cmの数値でした。おわびして訂正します。●市報8月25日号18ページで

9月は「高齢者悪質商法被害防止キャンペーン月間」です

以下のような相談が増えています。困ったとき、悩んでいるときは、どんな小さなことでも相談してください。

- 【事例1】電話勧誘で「未公開株」、「社債」、「温泉付き有料老人ホーム利用権」などへ投資した。勧誘業者とは別の偽の業者から『高値で買い取る』などと電話があり、更に追加で投資したが、買い取ると言った業者と連絡が取れなくなってしまう。 【事例2】過去に訪問販売で「布団」や「健康器具」を買った人を狙って、『無料で点検』などと電話がかかってきて、次々と契約をしてしまう。 【事例3】趣味でやっている「短歌」、「油絵」などを、『新聞や雑誌に掲載』しないかと電話がかかってきて、複数の業者と契約して高額な料金を請求をされてしまう。 【事例4】海外から『高額賞金に当選』したと手紙が届いた。

《高齢者トラブル110番》 ●日時: 9月15日(木)、16日(金) 午前9時〜午後4時 ●相談電話: ☎757-3740 ※面談相談も受け付けているので、事前に電話で予約してください ●問合せ: 市消費生活相談窓口(産業振興課内 ☎757-3740)



第7回市民スポーツ大会

Table with 4 columns: 期日, 大会名, 会場, 問合せ. Lists various sports events from 9/25 to 10/23.

おもしろなお話

取材でお邪魔した「おもしろ!自由研究大集合!」では、取材しつつも、昔の自分の自由研究を思い出しました。記憶に残っているのは、2学期前ギリギリで作ったかき氷カップの車。ほほ親の作品でした。もう一つは葉草の押し花。葉草辞典を片手にオオバコやタンポポなどを振り返し、押し花を作りました。タンポポは採取場所が砂利道の硬い地面だったため、掘り返すのに苦労したことが思い出です。この企画に参加した児童の皆さんは、友達と協力して、楽しんで学んでいる姿が印象的でした。持ち帰ってもう一回やると張り切っている姿に未来の科学者を見た気がしました。(石)



▼今年の十日町おまつりは、花火や民謡流しが中止となり、少し寂しい気もしますが、八角みこしの迫力、そして最後の挨拶の「明日からのエネルギー」という言葉に感銘を受けました。災害に遭い、今まで開催していた行事をやめることに理由があれば、今までどおりにやることにも意義があると感じました。▼豪雨災害ボランティアの取材を通じて、互助の精神や縁、きずな大切さを痛感しました。かくゆう私たちの係も災害直後から情報の発信で来てこまいったところを、職場の仲間や支援のおかげで、業務を遂行することができました。地元メディアの皆さんからは情報の伝達に協力していただきお借りして御礼申し上げます。(つ)



とつさんは
タツノオトシゴ



今藤 ^{みずき} 瑞生さん (1年)

タツノオトシゴのお父さんが、海の中で子どもたちいろいろな魚と楽しく遊んでいるところです。オレンジのミノカサゴが上手にかけました。



ぴかぴかの
車をうりたいな



清水 ^{かずや} 和也さん (2年)

車やさんになって、トラックやスポーツカーなどいろんな車、アリヤタコ、剣などのおもしろい車もうってみたいです。たくさん色をつかってがんばってぬりました。



ジュニア芸術祭

75

上野小学校



ピンクがいっぱい
小物入れ



登坂 ^{こゆき} 小雪さん (3年)

色をまぜてピンクのねん土を作りました。なかなか上手にまざらなくて大変でした。ネズミのキャラクターがかわいくできました。



雲に乗って遊びたい



庭野 ^{まひろ} 真優さん (4年)

空にうかぶ雲で友だちと楽しく遊んでみたいです。雲の上でトランポリンをしたり、雲から雲へジャンプしたり、疲れたらねたりします。



あっ！すすかけの木におかし



登坂 ^{せいあ} 星愛さん (5年)

学校にある大好きなすすかけの木に、たくさんのお菓子がついている様子を想像してかきました。太陽の光が降り注いでいるところを上手にかくことができました。



競走する2ひき



新妻 ^{ななこ} 菜々子さん (6年)

象とキリンがこちらに向かって走ってくるように作りました。後ろの木は景色が変わるような感じにして、スピード感を出しました。

市民の動き

■ 人 □ 59,521人 (-43) 男 29,089人 (-23) 女 30,432人 (-20)
■ 世帯数 20,087世帯 (-5) 8月末現在 () は前月からの増減